

# 外郭団体ミッション遂行評価票

【平成26年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州国際技術協力協会
-----	--------------------

所管課	環境局 環境国際戦略課
-----	-------------

団体に対するミッション
<p>北九州地域に長年にわたって蓄積された広範な環境技術・産業技術と、環境改善の実績を基に様々なツールを活用して、開発途上国の持続可能な発展に貢献するとともに、こうした公益事業（国際貢献）を通じて地域の経済発展及び世界の環境首都の都市ブランドの確立に寄与する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>本市及び市内企業等に蓄積された産業技術を基に、海外諸都市の「産業」と「環境」の調和を目指した持続的な発展に寄与するため、今後も、海外からの研修員の受け入れや海外でのものづくりサポートなどの国際技術協力事業を積極的に推進する。</p> <p>また、同団体が有する国内外のネットワークを活用し、本市及び関係機関等と連携を深め、国際協力さらには国際ビジネスを推進することにより、国際貢献、産業開発と環境保全の調和を目指す。</p>

## ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	開発途上国の持続可能な発展に貢献するとともに、本市の経済発展及び環境首都としての都市ブランド確立に寄与するため、研修員の受け入れ及び国際技術協力を積極的に継続する。
-------------	------------------------------------------------------------------------------------

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H25 実績	H26 目標 実績		H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
研修員受入数（累計）	7,482人	7,700人	7,839人	8,000人	8,300人	8,600人	前年度 実績の 維持
技術協力件数（平成23年度以降累計）	45件	54件	55件	63件	72件	81件	
国際人材情報データベース登録者数（平成24年度以降累計）	1,460人	1,700人	1,767人	1,950人	2,200人	2,450人	

## ミッションの遂行状況の評価（平成26年度）

団体における評価	<p>研修業務については、対象国の中心が東アジアからアフリカ諸国へと移行しつつあるが、対象国のニーズに合った研修を提供し、目標を上回る受け入れを行うことができた。</p> <p>国際技術協力についても、目標を達成するとともに、北九州市内企業のビジネスマッチングに貢献できた。データベース登録者数については、平成25年度から実用化したことから、それ以前の研修員等の登録も含めて目標数を大幅に上回ることができ、登録者情報の充実が図れた。</p>	市の評価	<p>昨今の社会状況により、JICAの全体的な研修受入件数が減少しているにもかかわらず、KITAにおいては受入研修員の目標を上回りデータベースの登録数も確保できたこと、また、技術協力件数も目標を達成できたことは、評価することができる。</p>
	今後の課題及び見直し内容		<p>これまで本市及び市内企業等に蓄積された産業技術を、東南アジアを中心とした技術協力要請の高まりに対応し、積極的に移転するために貢献をしていく。</p>

## その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	－
<p>海外からの研修員の受け入れや海外への専門家派遣などの国際技術協力事業を実施し、また、市やJICAやJETROなどの関係機関と連携を深め、積極的に国際協力を推進している。最近では、JICA等と連携して、研修のフォローアップに取り組んでおり、帰国研修員との継続的な連絡や現地訪問によるアウトカムの調査を行った。</p>	